

季刊号



2023 冬号 (第 46 号)

2023.12.25 発行

特集

生活の中の化学物質を問う

総論

化学物質との向き合い方を考える



2023 秋号 (第 45 号)

2023.09.25 発行

特集

2023 年総会記念シンポジウム

現代社会における食の価値を考える

—生活協同組合だからこそできる価値の
伝え方、活かし方とは—



2023 夏号 (第 44 号)

2023.06.25 発行

特集

生協産直は酪農の危機を救えるのか？

総論

揺らぐ日本の食の生産・表示そして安全



2023 春号 (第 43 号)

2023.03.25 発行

特集

協同の力を生かした「子育て」の支え方

総論

「子」と「親」を支えるために何が必要か？



2022 冬号 (第 42 号)

2022.12.25 発行

特集

くらしに寄りそった情報伝達とは

総論

メディアとの付き合い方を考える



2022 秋号 (第 41 号)

2022.09.25 発行

特集

2022 年総会記念シンポジウム

協同のネットワークを地域でどう創るか

〈ご意見、ご感想もお聞かせください！〉

研究所へのご意見ご要望、「くらしと協同」のご感想ご意見をお聞かせください。
編集部一同、お待ちしております。

パソコンからは <https://forms.gle/6aZV1secMk7C5gDE9> へ

スマホやタブレットからは、右記の QR コードを読み取ってご利用ください。



編集後記

「消費者にとって魅力的な店舗は？」という問いは、流通研究ではとても重要な問いです。たとえば品揃えの数。多ければいいのか、ある程度絞った方がよいのか。たとえば店の広さ。広ければいいのか、狭くてもいいのか。実際のところ、魅力は千差万別、1つだけに絞れるものではありません。ただ、それを伝えようとする際に、発信する側が何を魅力と感じ、何を「魅せたい」と思っているのかは決定的に重要です。それは組織の価値観ともかかわる部分であり、生協が「魅せたい」と思うものについて、しっかりと考える必要性を感じる機会となりました。(太)

季刊 くらしと協同 2024 春号 (第 47 号) 2024 年 3 月 25 日 発行

編集企画 | 『くらしと協同』編集委員会

電 話 | 075-256-3335

編集長 | 加賀美太記

F A X | 075-211-5037

発行所 | くらしと協同の研究所

E-mail | kki@kurashitokyodo.jp

理事長 | 若林靖永

U R L | <http://kurashitokyodo.jp>

住 所 | 京都市中京区烏丸通二条上る時絵屋町 258 コープ御所南ビル 4F (〒604-0857)